

□一 次の漢字をひらがなにし、――線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 国境      ② 海底      ③ 戸数      ④ ロンテンがずれる。      ⑤ 家と学校のオウフク。      ⑥ セイセキが上がった。      ⑦ ジジヨウを聞く。

□二 適切なことばを下から選び、正しい漢字に直しなさい。

- |                                |       |        |        |
|--------------------------------|-------|--------|--------|
| ① 無人島を「 <u>        </u> 」する。   | タンケン  | チヨウセン  | カイケン   |
| ② 地方「 <u>        </u> 」を成功させる。 | ジヨウエン | コウカイ   | コウエン   |
| ③ 友人との「 <u>        </u> 」をはたす。 | カイケン  | サイカイ   | コウケン   |
| ④ 初めての「 <u>        </u> 」を飾った。 | シヨウリ  | シヨウブ   | ハイセン   |
| ⑤ 電力の「 <u>        </u> 」。      | ウンソウ  | キヨウキユウ | キヨウチヨウ |

□三 次の文にはそれぞれ漢字一字の間違いが一か所ふくまれています。間違いを抜き出して、正しい漢字に直しなさい。

- ① 風がすずしく心地よい期節になってきた。  
② キャンプで小鳥が泣いているのを聞き、心が安らいだ。  
③ 大きな工場だったが、規模を縮少して効率を上げている。  
④ 新種の発見は、幾つもの偶然が重なって成し遂げられた。  
⑤ 今年のA大学の培率は例年よりも高かった。

□四 次の――線部はどの部分（文節）にかかっていますか。文中から一文節で抜き出しなさい。

- ① 買い物を 終えた 兄が 店から 早足で 出て 来た。  
② この町の 駅は まだ 隣の 町の 駅よりは 新しい。  
③ 大きな 揺れが あったので 素早く 校庭に 避難した。  
④ 風に 吹かれて 落ちた 葉が ひらひらと 舞って いる。  
⑤ この 位置からは 建物が 邪魔で まったく 花火が 見えない。

〔五〕 次の——線部の主語を抜き出し、正しい漢字を使って書きなさい。

- ① はるに いちめんじに さきみだれる さくらが このまぢの 名物だ。
- ② えきまで そぼが むかえに 来る。
- ③ スポーツに きようみの ある ひとが たいしよの ばんぐみが 出来た。
- ④ とかいの よぞらは あかるすぎて ほしが まったく 見えない。
- ⑤ わたしの あにが やきゆうの たまを 投げた。

〔六〕 次のことばに続くことばとして適切なものをあとのア～オからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ① 燃えるような
- ② 身を切るような
- ③ 抜けるような

ア 雨    イ 海    ウ 夕焼け    エ 青空    オ 寒さ

〔七〕 次の語句を並びかえて文を作りなさい。ただし、——線部のカタカナは漢字に直し、主語がある場合は解答らんに合うように答えなさい。

宮沢賢治「風の又三郎」の一節

ア きりきりと    イ すたすた    ウ ざわざわ    エ さあつと    オ ざあつと

九 次の空らん「①」「②」「③」「④」「⑤」に入ることばをあとのア～オから選び、記号で答えなさい。(同じ記号は一回しか使えません)

宮沢賢治「どんぐりと山猫」の一節

ア ちらっと      イ ぱっと      ウ ちくくと      エ ぴよんと      オ ぼとぼと

十 次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

丸山宗利『昆虫はすごい』の一節

問一 ― 線部 a、b のカタカナを漢字にしなさい。

問二  A に入る適切な語句を、あとのア～エから選び記号で答えなさい。

ア しかし    イ そして    ウ やはり    エ また

問三  B に入る適切な語句を、文章中から探して答えなさい。

問四 文章の内容と異なるものをあとのア～オからすべて選び記号で答えなさい。

- ア 近年は昆虫を愛でる人が増え、その広がりには芸術家にもおよんでいる。
- イ カブトムシやクワガタムシは、今も昔も子供にとって一番の遊び相手である。
- ウ 日本人はエジプトや南ヨーロッパに比べ、虫を神聖化する珍しいミンゾクである。
- エ この文章の筆者は、よく少年時代の昆虫収集のジョウネツに回帰している。
- オ 日本は、どこにでも虫網が売っていて、世界的にも珍しい国である。



